

令和2年度学校経営計画

大田区立東調布中学校
校長 宮本 泰雄

おおた教育ビジョン
～豊かな人間性をはぐくみ、未来を創る力を育てる～

I 本校の教育目標

- 善い行いを積み
- 学業に励み
- 体力向上に努め
- 感謝の心をもつ

II 生徒修学信条 「生きた至宝となれ」

III 目指す生徒像

「知・徳・体」の調和のとれた豊かな人間性をもつ生徒

IV 本校の目指す学校像

- (1) 人権尊重の精神を基調とする安全・安心で、生徒を大切にす規率と思いやりと活力のある学校
- (2) 学ぶ意欲を高め、確かな学力を育成する学校
- (3) 公立学校に対する期待に応え、保護者や地域から信賴される学校

V 目指す学校づくりのための方策

- 1 人権尊重の精神を基調とする安全・安心で、生徒を大切にす規率と思いやりと活力のある学校
 - ① 人権尊重・生命尊重を教育の根幹として位置づけ、一人ひとりの生徒の個性や特性を大切にした教育活動を行う。
 - ② 規率意識・礼儀・相互理解・コミュニケーション能力を大切にし、生徒理解に努め、思いやりのある温かな学級・学年づくりを行い、すべての生徒が安心して学べる学習環境を整える。
 - ③ 学校行事や部活動において、生徒の自主的な活動を活発にし、生徒に活躍の場を提供し、生徒の成長を認め、生徒の自己肯定感・自尊感情を高め、生徒の能力を伸張する。
 - ④ 生徒会活動を活性化し、「いじめ撲滅宣言」等を通して「いじめゼロ」を目指す。
 - ⑤ 生徒の自治的な活動を充実させ、自らを律し「学校を大切にす」(人を大切にす・物を大切にす・雰囲気大切にす) 気風を醸成する。
 - ⑥ ボランティア活動やJRC活動を充実させ、地域社会との共生、地域への愛着心を育てる。

- ⑦ 毎週、教育相談部会をもちスクールカウンセラー、外部の相談機関等と連携し、「不登校生徒ゼロ」を目指す。
- ⑧ ハイパーQU等各種検査を有効に活用し、生徒理解と学級経営のあり方について理解を深め、よりよい生徒集団づくりを行う。
- ⑨ 読書学習司書と連携し、朝読書の実施、図書室の充実、教科での活用等により読書指導を推進する。

2 学ぶ意欲を高め、確かな学力を育成する学校

- ① 基礎・基本的な学力の定着とともに、生徒が「学ぶ喜び」を実感できる授業を行い、生涯にわたって学び続ける意欲や姿勢を育てる。
- ② 基本的な生活習慣の確立と家庭学習の定着を図り、学びに向かう基本的な姿勢を身に付けさせる。
- ③ 英語・数学では少人数授業を行い、一人ひとりの生徒の習熟度に応じたきめ細かな指導を行う。
- ④ 授業研究を主とした実践的な研修会に積極的に参加し、成果を授業に活かし、授業力の向上を図る。
- ⑤ 授業形態の工夫や電子黒板・タブレット等のICTを活用した相互学習や発表の場の導入などにより、「思考力・判断力・表現力」を伸ばす質の高い授業を行う。
- ⑥ 教育専門職としての責務と誇りをもち、教員経験年数に応じた適切で効果的なOJTを実施する。
- ⑦ 大田区学習効果測定や各種調査の結果を分析・検証し、授業改善プランを作成し、学力の向上を推進する。
- ⑧ 学習指導講師を活用し、放課後や土曜日の補習やT・T授業、自習教室等を工夫し、生徒の習熟に応じた学習指導を行う。

3 公立学校に対する期待に応え、保護者や地域から信頼される学校

- ① 東調布中学校の伝統や校風を受け継ぎ、地域に立つ学校として継承し発展させていく。
- ② 生徒や保護者の心情に寄り添い、共感的理解に努める。
- ③ 保護者や地域からの意見に耳を傾け、地域教育連絡協議会からの意見を反映し、よりよい学校づくりを進める。
- ④ 教育に携わる公務員としての責務と誇りをもち、生徒や保護者や地域の期待に応える教育活動を推進する。
- ⑤ 常に危機管理意識をもち、事故や事件の未然防止に努め、生徒、保護者、地域・関係諸機関に対して、迅速・丁寧・適切な対応を行う。
- ⑥ 「学年便り」を定期的に発行し、ホームページなどで情報を発信し、日常より保護者、地域・関係諸機関との連携を深め、信頼される学校づくりを目指す。
- ⑦ 学校支援本部の協力を得て、職業人講演会、校庭緑化など学校支援の体制をつくる。
- ⑧ 地域や近隣小学校、高等学校と連携を深め、部活動指導員や外部指導員などを活用して体力の向上や文化的な活動の充実など特色ある生徒活動を推進する。
- ⑨ 行政、地域、関係機関と連携を密に、図書館併設型校舎への改築の早期実現を目指すし、読書活動の充実など特色ある学校づくりを行う。